

お客さまへ 床下・小屋裏換気扇を安全・安心してご使用していただくために

製品事故を防ぎ、換気扇を長く安全に使うために、必ず5・10年点検を実施し、安全を確認した上で継続使用してください。
 ※使用が10年を経過した製品は点検を実施するまでは使用を停止し、点検後に再度ご使用頂きます様をお願いします。

【床下・小屋裏換気扇は長期使用製品安全表示制度の対象製品です】

弊社換気扇及び送風機の設計上の**標準使用期間は「10年」と**設定しています。(経済産業省 長期使用製品安全表示制度)
 ※使用が10年を経過した製品については製品の買い替え又は、安全重要部品(モーターや接続部品)の交換をおすすめします。

床下・小屋裏換気扇は湿気や埃等の多い環境での使用となり、長期使用により、腐食・接触不良・塵埃堆積など劣化が進んでいたり、故障している可能性があります。床下・小屋裏換気扇は使用前の点検・確認が容易ではないため

経年劣化状態や故障状態のまま使い続けていると製品焼損・発火等の事故に至るおそれがあります。

●セルフチェック(経年劣化の目安)

モーターカバー表面のサビが30%を超えている場合、モーターなど安全重要部品の交換時期となります。

注意：特に塩害地域(※1)や使用期間15年以上の換気扇は異音等問題なく動作していても、モーターなど内部部品が劣化し、発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【点検について】

- 点検は換気扇を販売・施工した業者へ問い合わせ及び依頼をお願いします。
- 販売施工した業者が不明、連絡がつかない、廃業したなどの場合、弊社へお問い合わせ頂きますと点検等対応可能な業者をご紹介します。
- ※基本的に点検や部品交換費用はお客様負担となります。

【使用開始日 記入欄】

年 月 日
 ●施工業者名 ()

(※1) 塩害地域の目安

- 概ね海岸から2km以内の地域(北海道日本海側および東北日本海側を除く)
- 北海道日本海側(松前町～稚内市)および東北日本海側(青森県東通村～山形県鶴岡市)は海岸から7km以内の地域
- 沖縄および離島は全域

アフターサービス

補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造切り後、6年です。
 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外(例えば業務用など)に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

保証書について

- この製品には「保証書」がついています。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。

愛情点検

長年ご使用の点検を



ご使用の際、このような症状はありますか？

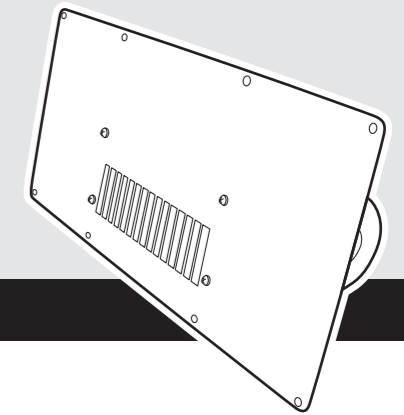
- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある
- 回転が遅い、または回転が不規則である
- 運転中に異常な音や振動がする
- 焦げくさい“におい”がする
- その他の異常がある

ご使用中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

床下強制換気システム

取扱説明書



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



■仕様変更・改造・分解は絶対にしない。火災・感電・けがの原因となります。



■製品を水や薬剤につけたりかけたりしない。ショート・感電の恐れがあります。破損・変形・火災の原因となります。



■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使用しない。誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。



■取付工事および電気工事は「電気設備技術基準」「内線規程」に基づいて専門工事店が行なう。誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。



■決められた以外の場所では使用しない。(本製品は床下専用です。)火災・感電・けがの原因となります。

注意



■運転中は危険ですから本体内部に指や物を入れない。感電・火傷・けがの恐れがあります。



■本体取付のときは必ず手袋などを着用する。けがの恐れがあります。



■水や薬剤につかるところや床下地面がたえず水分をおびている住宅に取付けない。ショート・感電・火災の原因となります。



■製品の上に物を置かない。破損・変形の原因となります。



■落とさない。破損・変形の原因となります。



経年劣化に係わる注意喚起のため下の内容の表示を本体の銘板付近にしています。

■【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。 ■【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

お願い

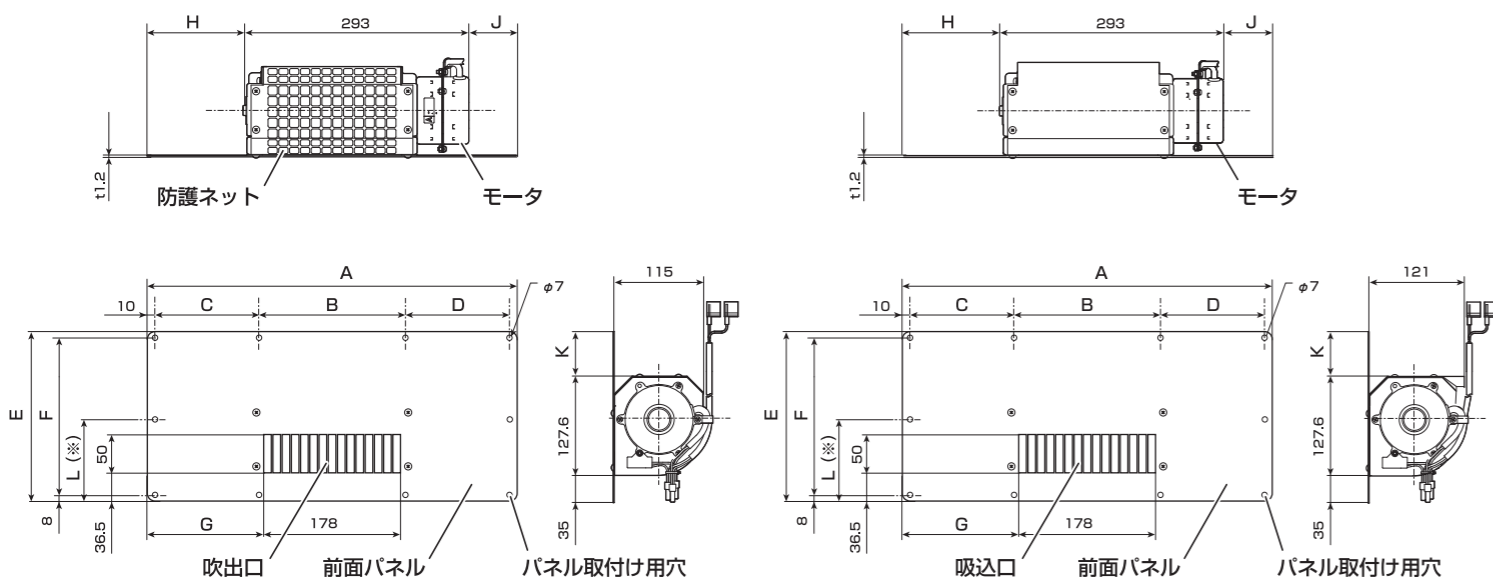
■台風時など床下浸水が予想されるような場合は電源を切ってください。また、床下浸水などがあった場合は部品の交換が必要です。(お買い上げの販売店にご相談ください。)

各部の名称と外形寸法図

排気型

給気型

[単位：mm]



(単位：mm)

寸法表	前面パネルサイズ	A	B	C,D	E	F	G	H	J	K	L (※)
	S	400	190	95	200	184	91.5	65	42	37.4	—
3S	480	↓	135	220	204	151	124.5	62.5	57.4	—	
4S	↓	↓	↓	200	184	131.5	105	82	37.4	—	
5S	↓	↓	↓	250	234	↓	↓	↓	87.4	117	

(※) パネル取付け用穴は5Sのみ10ヶ所となります。(S、3S、4Sは8ヶ所)

梱包内容

- 本体×3台
- 取扱説明書×1冊
- 保証書×1冊
- EPTパッキン (防振用)×大6本、小6本
- タイマー ※注1
- コンクリートプラグ×24本 ※注2
- トラスタッピンねじ (φ4×25) (本体取付用)×24本 ※注2
- 横P付コード×1本 ※注3
- コネクタキャップ×6ヶ

※注1、タイマーの有無は梱包箱に記載してあります。 ※注2、前面パネルが5Sの場合は30本 ※注3、タイマー同梱時のみ

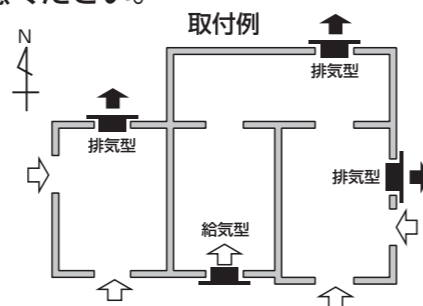
取付場所

本体 本来の効果を損なうことのないよう設置位置選定と使用方法にご配慮ください。

- 床下の風が、よく流れる位置に換気扇と換気口を設けてください。
- 湿気の多い、水まわりの部屋付近に取付けると効果的です。
- 吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所に取付けてください。
- 風雨や風雪の吹込みがない場所を選んでください。
- 積雪により、換気口がふさがれてしまうような所は防雪の処置が必要です。
- 換気扇および換気口の近くに物を置かないでください。
換気性能の低下や騒音のもとになります。
- 使用可能温度条件 (-5℃~40℃) 以外のところに取付けしないでください。

タイマー

- コンセント付近の都合の良い柱、又は壁に取付けてください。
- 換気扇を取付けた位置の近くに取付けてください。
- VVFケーブル1本を床下から立ち上げられるような板張り、又は畳の部屋に取付けてください。
- 配線固定にはモールをご使用ください。

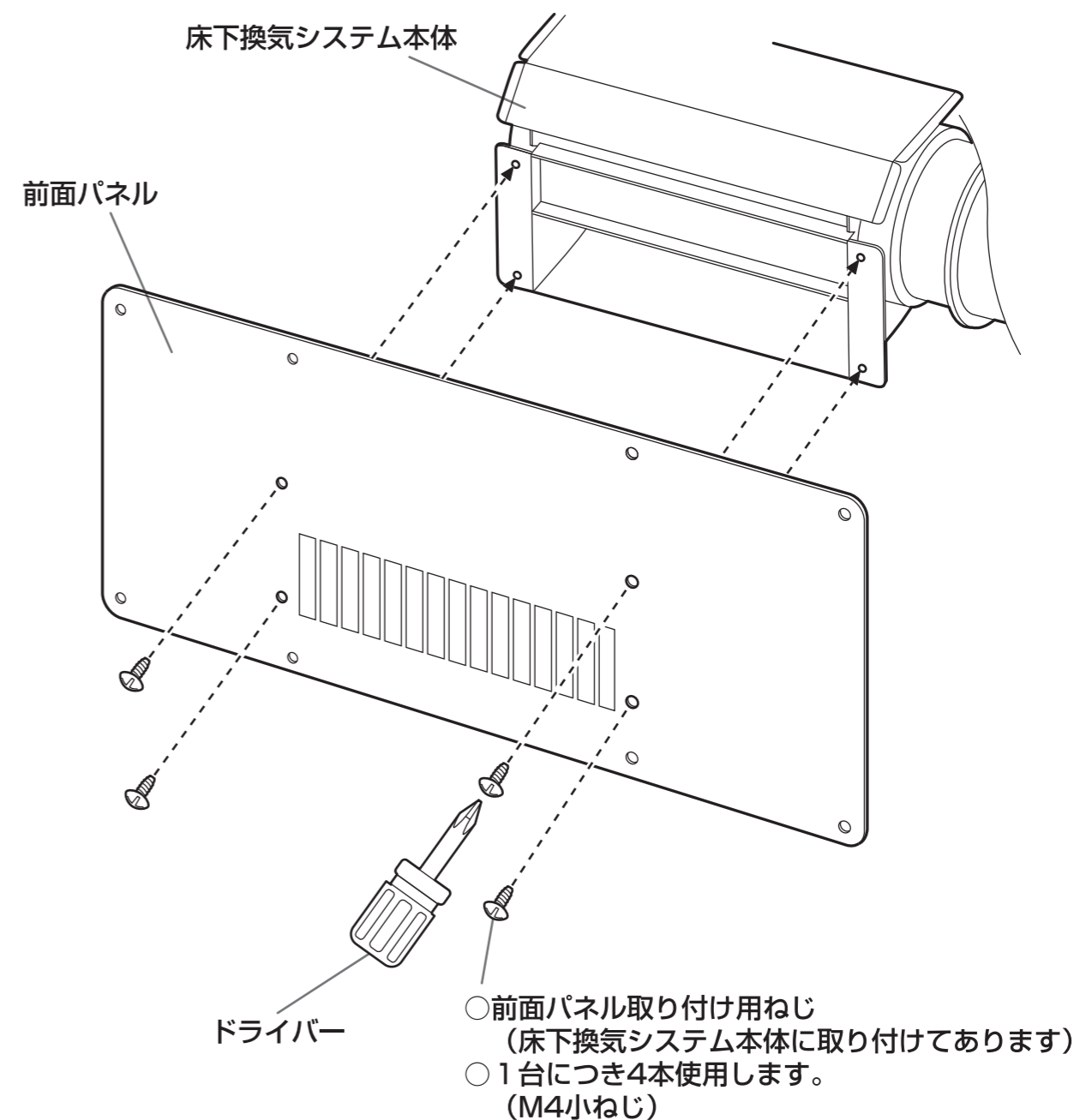


換気有効面積 (目安)

床面積	取付台数
30坪まで	3~4台
30~40坪	4~5台
40~50坪	5~6台

まずはじめに

前面パネルと床下換気システム本体の組み付けを、最初に行ってください。



- 前面パネル取り付け用ねじ (床下換気システム本体に取り付けてあります)
- 1台につき4本使用します。(M4小ねじ)



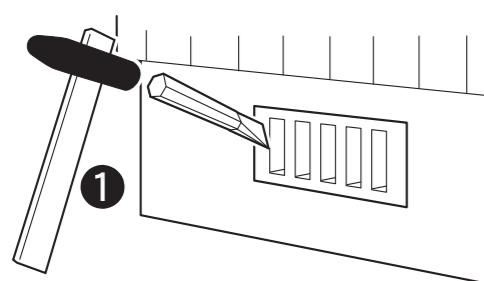
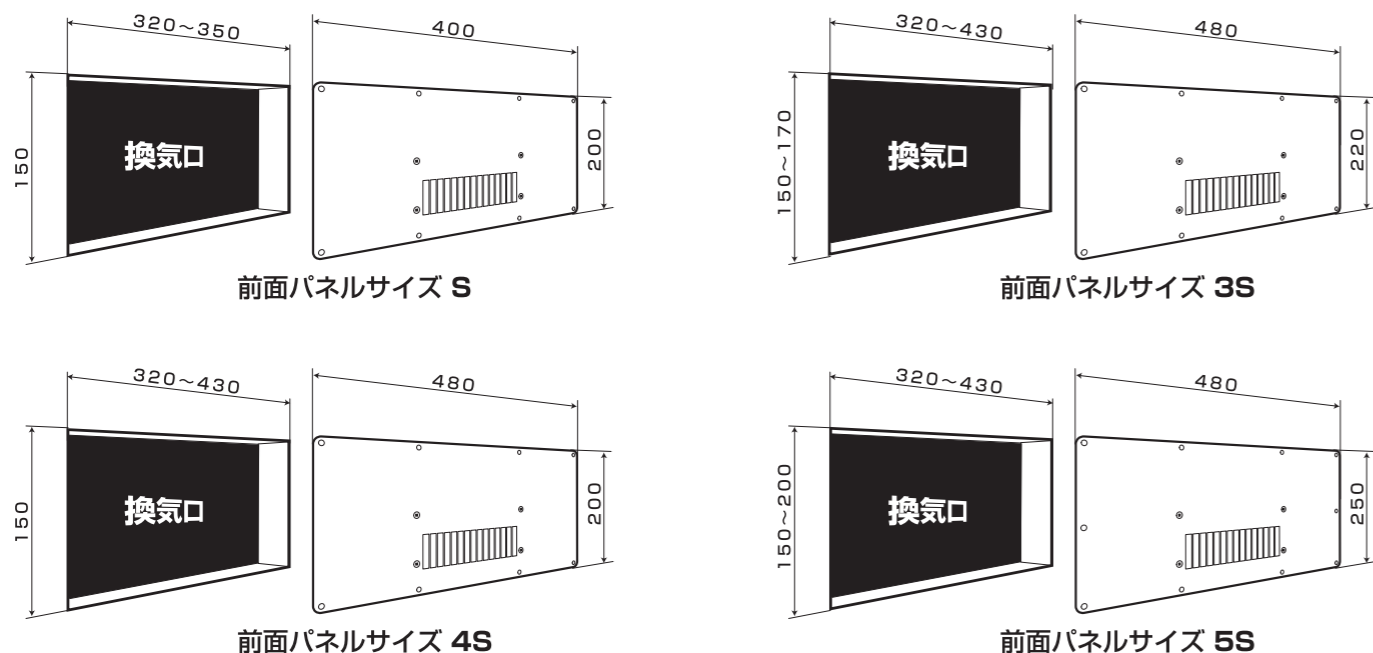
前面パネル・床下換気システム本体の板金部分は、手を切りやすくなっていることがあります。十分注意して取り付けてください。

使用する工具・材料

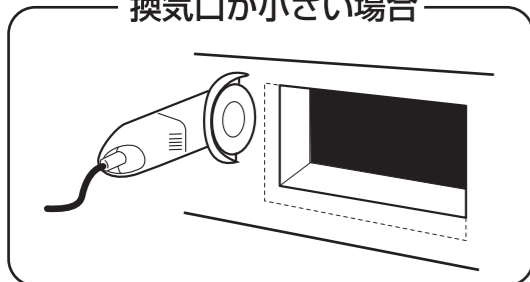
- ハンマー
- たがね
- ドライバー
- VVFケーブルφ1.6×2心
- コンクリートドリル(キリφ5.0mm)
- スケール
- サンダー (換気口が小さい場合)
- セメント・木材 (換気口が大きい場合)

施工方法

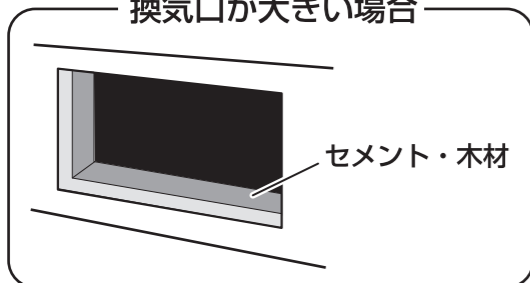
前面パネルサイズ別対応換気口寸法 [単位: mm]



換気口が小さい場合



換気口が大きい場合



1 現在取付けられてある換気口の格子ブロック等を取除きます。

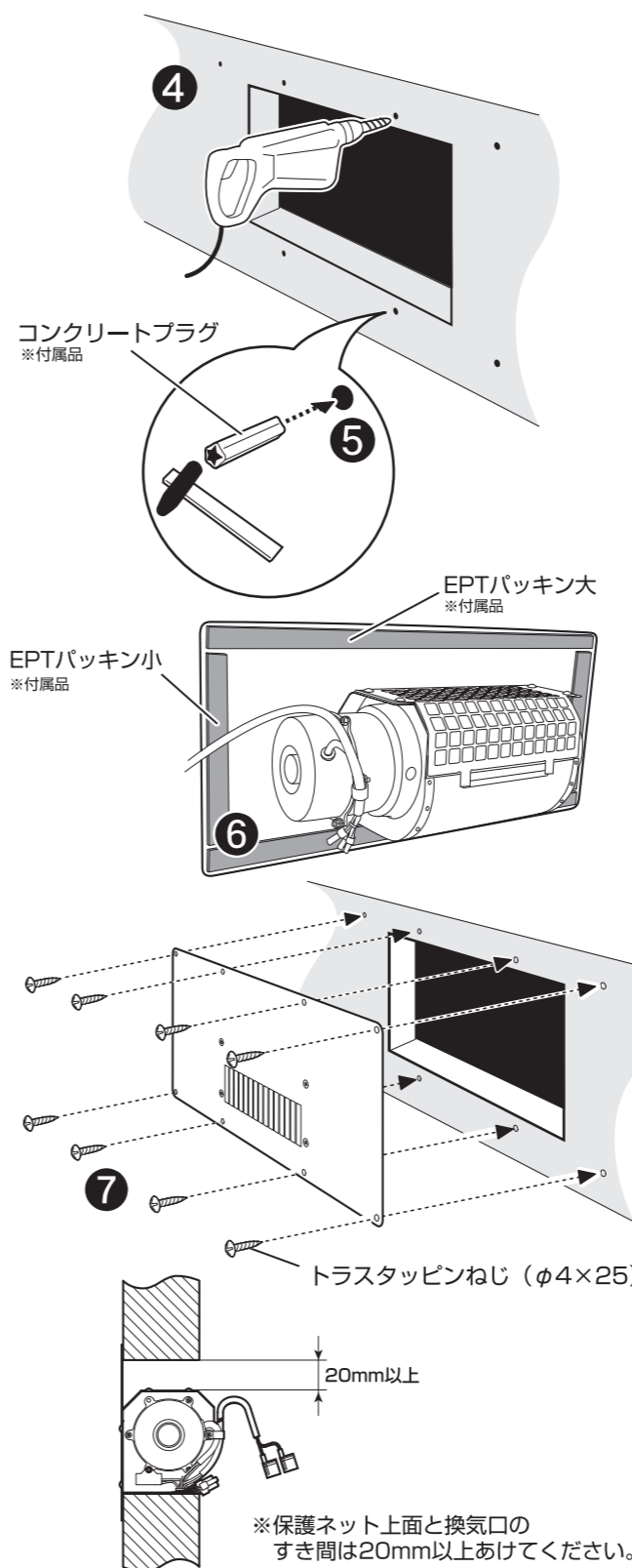
※施工上および通気上、とくに問題なければ、取り除く必要はありません。

2 換気口が320mm×150mm以下の場合、布基礎を切るか削ってファン本体が入るサイズにします。

※前面パネルサイズ別対応換気口寸法を参照ください。

換気口が大きい場合

換気口が大き過ぎて、パネルを取り付けることが出来ない場合は、セメント、木材などで、パネルが取付け可能なサイズにします。



※別項の「配線および結線方法」を参照ください。

※同様に8ヶ所(前面パネルサイズが5Sの場合は10ヶ所)の穴を開けます。

※同様に8ヶ所(前面パネルサイズが5Sの場合は10ヶ所)の穴を開けます。

※同様に8ヶ所(前面パネルサイズが5Sの場合は10ヶ所)すべての穴に埋め込みます。

※同様に8ヶ所(前面パネルサイズが5Sの場合は10ヶ所)すべての穴に埋め込みます。

※取付け用穴に被さるように、EPTパッキン大を横方向、EPTパッキン小を縦方向に貼付けてください。

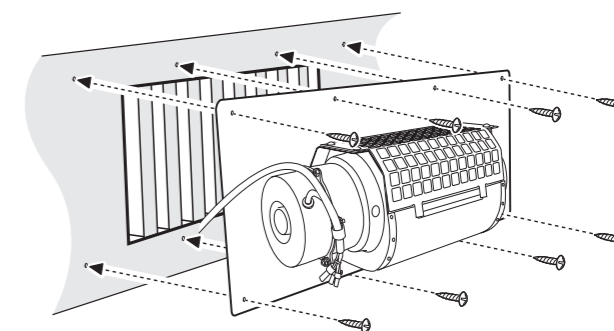
※取付け用穴に被さるように、EPTパッキン大を横方向、EPTパッキン小を縦方向に貼付けてください。

※取付け用穴に被さるように、EPTパッキン大を横方向、EPTパッキン小を縦方向に貼付けてください。

(前面パネルサイズがS・3S・4Sの場合は8本、5Sの場合は10本)

床下の内側から取り付ける場合

※床下の内側から取り付ける際は、EPTパッキンをパネルの表面に貼ってください。



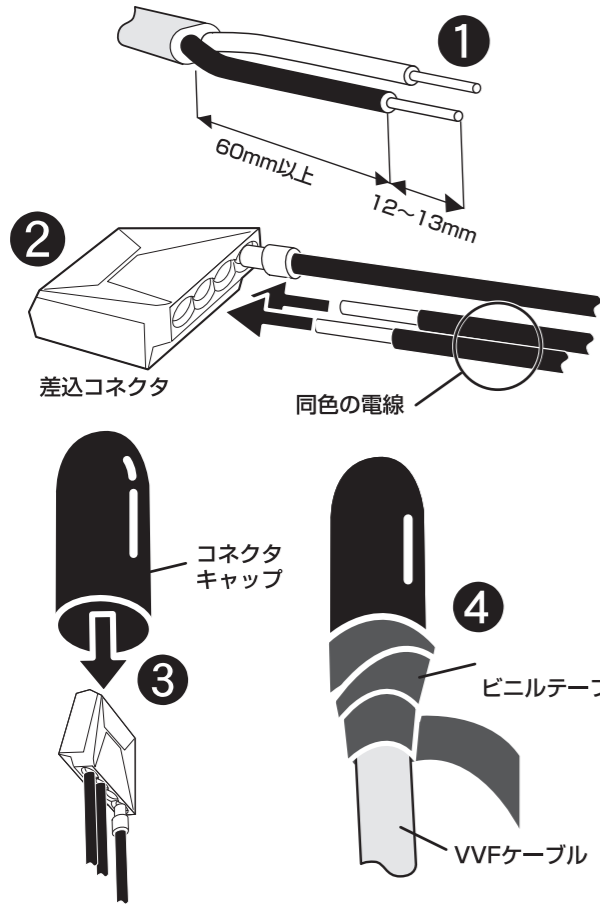
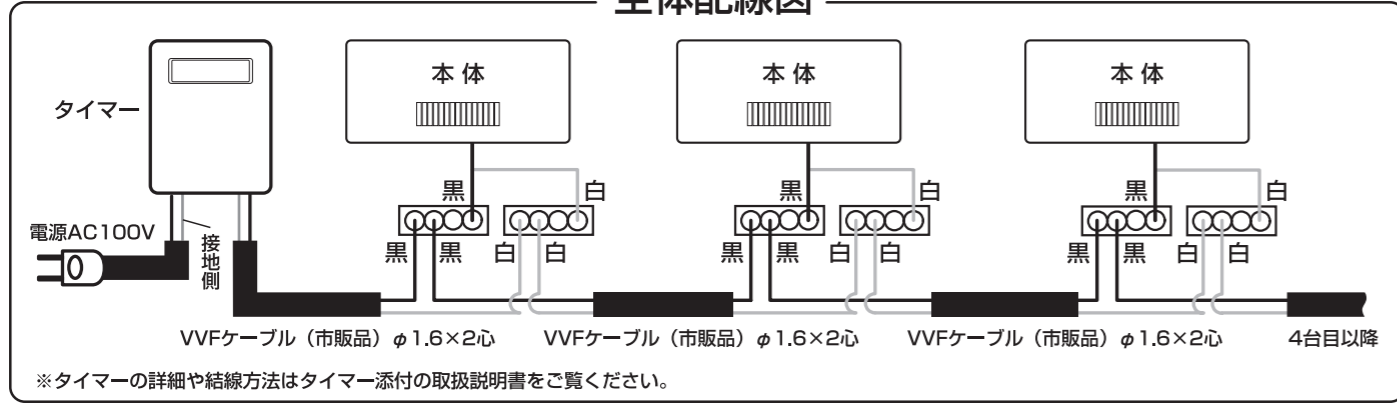
※換気格子の空気抵抗が大きい場合、換気口の格子を取り除いて防虫ネット(オプション)を取り付けてください。

仕様

	排気型	給気型
定格電圧	AC100 [V]	AC100 [V]
定格周波数	50/60 [Hz]	50/60 [Hz]
定格消費電力	12/14 [W]	12/14 [W]
換気能力	193/215 [m ³ /h]	208/222 [m ³ /h]
騒音	49/53 [dB]	46/46 [dB]
質量	約 3.0 [kg] ※付属部品を除く。	約 3.0 [kg] ※付属部品を除く。

全体配線図

※本製品は、アース工事は必要ありません。



① VVFケーブル (市販品 $\phi 1.6 \times 2$ 心) を12~13mm段剥きし、曲がり等があれば直してください。

注意

- 電線の段剥きの長さは必ずお守りください。

② 段剥きした電線を先端が突き当たるまで、差込コネクタに強く挿入してください。

※一本毎に引張り、抜けないことをご確認ください。

注意

- 1つの差込コネクタには異なる色の電線を差込まないでください。
- 曲がった電線は必ず真直ぐに直して差込んでください。
- ※不適正な電線の使用は火災の原因となります。

③ 付属のコネクタキャップを被せてください。

注意

- コネクタキャップを被せた後は、必ず先端を上に向けてください。
- ※下に向けると水滴が溜まり、漏電・ショートの原因になります。

④ ビニルテープを半幅以上重ねて3回以上巻いて固定してください。

工事完了後の点検

取付の確認 換気システムおよびタイマーが正しく取付けられているか確認してください。

運転の確認 1. コンセントに電源プラグを差込み、タイマーのモードを **連続運転** にして換気システムが正常に運転していることを確認してください。

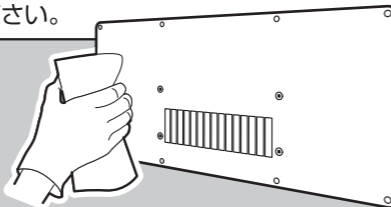
2. 換気システムを運転している時に、振動音や異常音がないか確認してください。

3. タイマーのモードを **タイマー** にしてください。※タイマーの使用方法は、タイマー添付の取扱説明書をご参照ください。

お手入れ方法

パネルに付着した落葉などは取除き、パネルの汚れが気になる場合は布などでよくふき取ってください。

- 注意**
- お手入れの際、取り外したり分解しないでください。故障の原因になります。
 - 60℃以上の熱湯は使用しないでください。
 - シンナー・灯油・みがき粉・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。
 - 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。
 - モータなどの電気部品に水をかけないでください。故障・ショート・感電の恐れがあります。
 - 板金部品などの切り口や本体の突起・角などでけがをしないよう必ず手袋を着用してください。



故障かなと思ったら

まず次の点をもう一度お調べください。

1. 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
2. タイマー電源プラグが、コンセントからはずれていませんか？
3. タイマーは、正しく設定されていますか？
 - 現在時刻を確認してください。
 - タイマー設定時刻を確認してください。
4. タイマー運転時間内ですか？
 - タイマー設定時刻を確認してください。
 - タイマー運転時間外であればタイマーのモードを **連続運転** にしてファン運転を確認してください。確認後再びモードを **タイマー** に切替えてください。
5. タイマーのモードが **停止** になっていませんか？
 - ※詳細な設定方法はタイマー添付の取扱説明書をご参照ください。

memo